

Salon

Vol.125 2020年3月 春号



ホール3F 壁画 ポール・ギアマン作「花とヴァイオリン」

CONTENTS

- 01 Prime Interview — ジョヴァンニ・ソッリマ
- 03 Phoenix Presents — 福田進一&大萩康司 ジョイントリサイタル
- 06 Pick Up
- 07 Essay de say — 苦難の歴史を乗り越えた芸術を、開かれた未来のために
智内威雄

規格外の巨匠、ザ・フェニックスホールに降臨 ジョヴァンニ・ソッリマさん



いま話題のボーダーレスな規格外のチェリスト、ジョヴァンニ・ソッリマ。2019年夏の東京公演は「美しき野獣」ともいるべきその自由奔放な演奏でセンセーションを巻き起こしたが、早くも再来日公演が実現、ザ・フェニックスホールでも「無伴奏チェロ・コンサート」が開催される。

1962年シチリア島パレルモ生まれ。リッカルド・ムーティやヨーヨー・マらが賞賛し、シンガーソング・ライターのバティ・スミスと共に演じ、ピーター・グリーナウェイ監督の映画『レンブラントの夜晩』などの音楽も担当し、オペラもいくつか作曲。クラシックのみならず、ロック、ポップス、民族音楽など、あらゆるジャンルにまたがる自在な音楽世界をもつチェリスト・作曲家として、すでにヨーロッパでは不動の名声を確立している。

いったい、ソッリマとはどんな人物なのか？その音楽観とは？

(取材・文：林田直樹／音楽ジャーナリスト・評論家)

ジョヴァンニ・ソッリマ(Giovanni Sollima／チェロ・作曲)

1962年イタリア生まれ。世界最高峰のチェロ奏者兼作曲家。ジャンルを超えた幅広い活動で知られ、クラシックはもちろん、ジャズ、ロック、即興演奏まで弾きこなし、圧倒的な表現力と高純度の感性で美しい広大なスケールの音楽を生み出し続けている。これまでにヨーヨー・マ、フィリップ・グラス、クラウディオ・アバドなど数多くの巨匠と共演。近年ではマリオ・ブルネロや2CELLOSをはじめ、世界中のチェリストがソッリマの楽曲をレパートリーにしており、チェロの可能性を広げているだけでなく、作曲家と演奏者の垣根をも取り外しつつある。後進の育成にも力を注いでおり、サンタ・チェチーリア音楽院で教鞭をとっている。

「ジョヴァンニ・ソッリマ チェロリサイタル」は、2020年5月10日(日)15:00開演。指定席。一般4,000円、友の会会員3,600円。学生券完売。チケットのお求め、お問い合わせは同センター(電話06-6363-7999 土・日・祝を除く平日10時～17時)。★残席わずか

【プログラム】 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007

無伴奏チェロ組曲 第3番 ハ長調 BWV1009

ソッリマ：ナチュラル・ソングブック 第4番 第6番

ラメンタチオ

ファンダンゴ(ボッケリーニへのオマージュ)

ジュリオ・デ・ルーヴォ：ロマネッラ / チャッコーナ / タランテッラ

フランチェスコ・コルベッタ(ソッリマ編)：カプリス・デ・シャコンヌ

シチリアのアルバニア系住民に伝わる伝承曲(ソッリマ編)：美しきモレアよ

チェロの中には、いろんな色や音が無限に詰まっている

ドヴォルザークの「チェロ協奏曲」のときには、ご自分が演奏していないときでも、オーケストラを聴きながら、音楽の流れに乗って、弓を持ったまま、身体を揺らして、激しく気合いを入れていましたね。

協奏曲だって、映画や絵画と一緒にです。登場人物と背景があり、一つの作品ができるわけですから。ソリストは自分が演奏していないときでも演奏するのは当然です。

ステージ上でのあなたは、美しい野獸のように自由に見えました。どうやってそういう風になれるのでしょうか？

(笑)ありがとうございます。物心ついたときから自然と、私と音楽との関係は特別になっていった。それだけです。さまざまな音楽を経験することで、音を学び、音を書き、探求し、成長してきた。私にとって、人生における音楽とは、手に触れることはできないが、確実にそこにある、信じられるものなのです。

仕事という面はありますよ。それで生計を立てているのだから。でもそれ以上の何かです。自分にとって音楽は、いつも大切に思う、まるで人物、あるいは生きている有機体のようなものですからね。

クラシックとそうでないジャンルとの間を自由に行き来しているのは、キャリアの始まりからですか？

ボーダー、国境なんていうものは、子供の頃からないと思っていました。いわゆる壁というものは、全てが、人間にとての敵だと思う。壁にはろくなものがない。ベルリンの壁しかし、トランプの壁しかし(笑)。ヴィヴァルディもモーツアルトも、その時代のロック・スター、ポップ・スターだったと思いませんか。バッハもストラヴィンスキイも現代音楽も好きだけれど、同時にフランク・ザッパもピンク・フロイドも好きだしね。

クラシックでは楽譜の通りにしろとアカデミックな世界では教育されます。どんなに楽譜が読めて指の技術があっても、即興はできないのが普通です。そんな純クラシックの人たちに、どうやって即興をやるコツを伝えますか？

自由になるためには、むしろちゃんとしたクラ

シックの教育が必要だというふうに思いますね。決してアカデミックな教育をぶつ壊そうと思っているわけではない。その重要性が分かった上で、もし自由になりたければ、足元を固めろよと思っている。クラシックの安定性は、その後自由になるための全要素を含んでいる。

即興はなかなか教えられるものではないが、自分の生徒にいつも言っているのは、古楽、特にバロックをやれということだ。ジャズではなくてね。あえてバロックを。なぜなら、バロックは60%は楽譜に書かれているが、残りの40%は自分の知識を使って、即興をするものだから。

たとえば1720~40年ころにフランス語で書かれた、ヨーロッパの音楽の装飾についての500ページくらいの本があるんだけど、それを見るとまるで即興とは自由なジャングルだなと思いますよ。17~18世紀の方法を学ぶことは、とても重要だ。そもそもクラシックが即興をしないなんているのは、前世紀の話ですからね。いまはもうどんどんボーダーレスになって、あちこちで状況は変わってきているよ。

あなたは、これまでのチェロからは考えられもしなかったような、特別な音をいっぱい出すことができるようになります。チェロの持つあらゆる可能性を探求していますよね？

チェロの中には世界そのものがあるんだ。楽器のなかに、いろんな色や音が無限に詰まっている。打楽器の音もあれば、ギターの音だってあるし、肉声もある。三味線の技術でチェロを弾いたこともありますよ。人間のファンタジーには限界はない。

演奏家・作曲家としてのバランスは？

作曲家としての活動はチェロの演奏とイコール、半々ですね。作曲していないときでも、いつでもそうできるように、頭は動いている。両者は決して衝突しないし、長いフライトの移動の合間に、頭の中で曲が書けたりする。チェロも作曲も、ギリシャ語もラテン語も、同時に勉強していたので、そうやって同時にやるということには慣れていました。これまでにも合唱、オペラ、ギター、ピアノ、オーケストラのための作品を書きましたが、実践的なこと、哲学的なこと、その両方を同時にやっている感覚ですね。

音楽的なルーツをお教えください。

私にとって、参考すべき作曲家、影響を与えた世界は、何と言ってもやはりバロック音楽。それが提起しているもの、様式、フレーズが語り掛けてくるものは、とても大きい。当時のマラン・マレやヘンリー・バーセルだって、スコットランドやアイルランドの要素も取り入れていますからね。ヴィヴァルディはクレージーなくらいに前衛的な実験をやっていたし、ハイドン、バルトークだってそう。

私にとっての作曲上のお手本は、人々の会話だったり、町を歩いていて聴こえてくる音楽だったりする。これっていうものはない。もちろん、ロッシーニのような熱いけれどもエレガントな音楽のモダンさは好きだし、特にボッケリーニは音楽上の祖父のような存在だと思っている。ボッケリーニは、指板で何ができるかということを、GPSのように探れるんだということをやった人だし、初の音楽民族学者の一人ではなかったかと思う。ルッカで生まれ、ヨーロッパを回り、スペインに住み、そこでファンダンゴなどいろんな民族的要素を取り入れて行った。彼の作品は10%くらいしか私たちには知らないと思いますよ。

シチリアのバレルモの生まれですね。今も住んでいらっしゃる？

もちろん。最近はバレルモも随分生活の質が向上しましたよ。多様な豊かさを持つ広いイタリアの中でも、シチリアの独自性は、地中海の中心にある島として、いろんな文化を磁石のように吸収し、ギリシャ、ノルマン、アラビア、スペイン、ドイツの影響も受けてきた。ちなみにソッリマという名前はスペイン、アラビア、ユダヤのミックスです。

今回の「無伴奏コンサート」はどんな感じになりますか？

バッハの曲もあれば、民族音楽との融合もある。タイル画のようにいろいろな要素を組み合わせてやるつもり。でもヴィヴァルディだって実際はそうだったと思う。ヴェネツィアもシチリアもバルカン半島も、すべてを取り入れていた。今回も音楽で旅するような内容にしたい。楽しみにしていて下さい。

Osaka Guitar Summer 2020



真夏のギターの祭典・大阪ギターサマーも今年で11回目。今回は、福田進一さんの愛弟子・大萩康司さんの登場です。今年デビュー20周年を迎える大萩さんと師匠の福田さんで息のあった演奏を披露します。テーマは「バロック～ネオ・バロック」。バロック作品またはバロック風の近現代の作品を特集します。昨年、福山雅治主演の映画「マチネの終わりに」に登場する曲も必聴です。また、今年から「ギター・ア・ラ・カルト」という新しい演奏会を設けます。関西在住の実力派ギタリストが趣向を凝らし、クラシックギターの魅力を披露します。毎年好評頂いている公開マスタークラスとアンサンブルワークショップも同時に開催。アンサンブルワークショップでは、今年は関西在住の作曲家・西森久恭さんに新曲を委嘱。修了コンサートでは、ギター・アンサンブルの世界初演、マスタークラス受講生たちの演奏をお楽しみください。

■1~3	8月29日(土)	8月30日(日)
通し券 一般 6,000円 友の会 5,400円 <small>(お一人様2枚まで)</small> <small>*1公演毎のご購入も可能です。</small>	13:00 公開マスタークラス&修了コンサート 13:00～ 公開マスタークラス 17:00～ 修了コンサート	13:00 ギター・ア・ラ・カルト 16:00 福田進一&大萩康司ジョイントリサイタル

■1

2020年8月29日(土) | 公開マスタークラス聴講&修了コンサート

自由席 一般¥500 ※1枚のチケットで「公開マスタークラス聴講」「修了コンサート」の両方をご鑑賞いただけます。なお、公開マスタークラス終了後の入れ替えはありません。



公開マスタークラス 13:00開始

■講師 福田進一、大萩康司 受講生などの詳細は、7月中旬頃ホームページでご案内します。

*公開マスタークラスは、
今回から有料となります

修了コンサート 17:00開演

■出演 アンサンブルワークショップ受講生、公開マスタークラス受講生(以上ギター)

■曲目 西森久恭:新曲委嘱(2020年あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール委嘱作品) 公開マスタークラス受講曲 ほか(予定)

■2

2020年8月30日(日)

13:00開演 指定席
 一般¥2,000(友の会価格¥1,800)
 学生(25歳以下)¥1,000(限定数)

新企画! デュオ、カルテットで贈る、関西実力派ギタリストたちの饗宴 ギター・ア・ラ・カルト

出演 岩崎慎一、益田展行、猪居謙、猪居亞美(以上ギター)



曲目 林そよか:4つの海の物語 フアリヤ:歌劇「はかなき人生」より“スペイン舞曲 第1番”
 モリコーン(鈴木大介編):ニュー・シネマ・パラダイス
 ムソルグスキー(岩崎慎一編):組曲「展覧会の絵」

大阪ギターサマー11年目を迎えるにあたり、新しい演奏会を立ち上げます。皆様にクラシックギターの魅力をお伝えします。組曲「展覧会の絵」は必聴です!

■3

2020年8月30日(日)

16:00開演 指定席
 一般¥4,000(友の会価格¥3,600)
 学生(25歳以下)¥1,000(限定数)

出演 福田進一、大萩康司(以上ギター)

デビュー20周年の愛弟子と共に演!バロック、「マチネの終わりに」を中心に <福田進一と仲間たち vol.11> 福田進一&大萩康司 ジョイントリサイタル

曲目 スカルラッティ:3つのソナタ K.9 / K.206 / K.380 菅野祐悟:幸福の硬貨～映画「マチネの終わりに」より
 バリオス:大聖堂 ブローウェル:ラ・グラン・サラバング
 テデスコ:プレリュードとフーガ(平均律ギター曲集より抜粋) ヘンデル(ラゴヤ編):シャコンヌ ト短調 他(予定)



福田進一(ふくだ・しんいち／ギター) 大阪生まれ。1981年パリ国際ギターコンクールでグランプリ優勝。以後35年に亘り、ソロ・リサイタル、主要オーケストラとの協演、超一流ソリストとの共演を絶えず、ボーダーレスな音楽への姿勢は世界中のファンを魅了している。2019年3月、モスクワにて国立スヴェトラーノフ交響楽団と武満徹^虹に向かってパルマ>をロシア初演。9月には作曲家L.ブローウェルと共に台北国際ギターフェスティバルに参加。11月公開の話題作、映画「マチネの終わりに」(監督:西谷弘、主演:福山雅治、原作:平野啓一郎)ではクラシックギター監修を務めた。ディスコグラフィーは既に100枚に迫り、2019年には5枚のアルバムがリリースされた。平成19年度「外務大臣表彰」受賞。平成23年度芸術選奨「文部科学大臣賞」受賞。公式ホームページ <https://shin-ichi-fukuda.themedia.jp>



大萩康司(おおはぎ・やすじ／ギター) 高校卒業後、フランスに渡り、パリのエコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院で学ぶ。ハバナ国際ギター・コンクール第2位、合わせて審査員特別賞「レオ・ブローウェル賞」を受賞。その後イタリアのキジアナ音楽院で学び、4年連続最優秀ディプロマを取得。これまでにNHK「トップランナー」「ららら♪クラシック」やTBS「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等メディアへの出演多数。日本における代表的な音楽祭のほか、モスクワ、コロンビア、台湾等海外の国際フェスティバルにも定期的に招かれている。第6回ホテルオークラ音楽賞、第18回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。



3月6日(金)
10:00 受付開始
ザ・フェニックスホール
友の会優先予約

3月9日(月)
10:00 受付開始
イーフェニックス
E-PHX優先予約

3月10日(火)
10:00
一般発売

インターネット予約、ご来店による
お申込みは3月11日(水)10:00から!

募集

公開マスタークラス 受講生募集

若きギタリストを育成する公開マスタークラスです。気概あるギタリストからのご応募をお待ちしております。

- 開催日程 **2020年8月29日(土)** 13:00開始
- 会場 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
- 講師 福田進一、大萩康司
- 募集部門 ソロ部門、デュオ部門 最大3組
- 受講料 大阪ギターサマー通し券1セット(6,000円)のご購入をお願いいたします。
交通費や宿泊費は自己負担とします。
- 応募締め切り 2020年6月12日(金)必着 *詳細は、募集要項、当ホールホームページでご確認ください。



ギターアンサンブル ワークショップ 受講生募集

今年は西森久恭さんの新曲に挑戦します。ギター愛好家の皆さんのご応募をお待ちしております。

- 開催日程 **2020年5月17日(日)～8月29日(土)** のうち9回開催
- 会場 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
- 指導 岩崎慎一、益田展行、猪居謙、猪居亜美
- 募集人数 20名程度
- 受講料 大阪ギターサマー通し券1セット+修了コンサート2枚(合計7,000円)のご購入をお願いいたします。
交通費や宿泊費は自己負担とします。
- 応募締め切り 2020年4月20日(月)必着 *詳細は、募集要項、当ホールホームページでご確認ください。



お問い合わせ・募集要項の請求

〒530-0047大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール「大阪ギターサマー」事務局
TEL 06-6363-0211 FAX 06-6363-1124 E-mail: concert@phoenixhall.jp URL: <https://phoenixhall.jp>

ホール主催・共催・協賛公演チケットのお申込み方法

06-6363-7999

土・日・祝日を除く平日の10:00～17:00

- ザ・フェニックスホール友の会優先予約
・ザ・フェニックスホール友の会会員様の優先予約日です(電話予約のみ)。
- ・主催公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
- ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時にお電話でお申しつけください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。

- E-PHX(イーフェニックス)優先予約
・E-PHX(イーフェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
- ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
- ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページからご登録ください。お電話でのご登録はできません。

- 一般発売
・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
- ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

<http://phoenixhall.jp/>

チケットセンターのページからお申込みください

直接のご来店による お申込み

- ・ザ・フェニックスホールチケットセンターはホール建物8階、エレベーターを降りて廊下右手です。



チケットお申込み後のお受け渡し方法

下記①または②のどちらかとなります。

- ①お申込み日から10日以内にザ・フェニックスホールチケットセンターへご来店ください。

営業時間は土・日・祝日を除く平日の10:00～17:00です。

- ②先に郵便振込みをしていただき、入金確認後チケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいたから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律420円)のみとさせていただきます。

振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール

■フェニックス・エヴォリューション・シリーズ93

主催 フィリー企画

2020年8月5日(水)

19:00開演 自由席
 一般前売¥2,500(友の会会員¥2,250)
 一般当日¥3,000(友の会会員¥2,700)
 学生前売¥1,500 学生当日¥2,000
 ※友の会割引は1会員2枚まで。
 ※学生券は大学生以下対象。

今をときめく若手ヴィオリスト、 中恵菜が届けるオール・ヒンデミット・プログラム 中恵菜 ヴィオラリサイタル ~ヒンデミットに思いを寄せて~

出演 中恵菜(ヴィオラ)、北端祥人(ピアノ)

曲目 ヒンデミット:冥想曲(1938) ヴィオラソナタ op.25-4(1922) ヴィオラソナタ(1939)
無伴奏ヴィオラソナタ op.25-1(1922) ヴィオラソナタ op.11-4(1919)

20世紀のドイツを代表する作曲家であるP.ヒンデミットはヴィオラの名手でもあり、ヴィオラのための作品を多く残しています。ヒンデミットの作品はヴィオラの魅力を余すところなく表現しており、ヴィオラの可能性を高めてくれた作曲家です。今回オール・ヒンデミット・プログラムに挑戦させて頂きますが、ヒンデミットは第一次世界大戦後、ロマン派から脱却し新即物主義を推進しました。新即物主義とは主観や感情を抑えて客観的・合理的に物事を捉えるドイツにおける芸術運動です。言葉にすることは難しいですが、例えて言うならば、昆虫が人間を観察しているような世界観のように私は感じます。ヴィオラはソロ楽器としてはそれほど知られていないかもしれません、実は人間の声に一番近いと言われている素晴らしい楽器です。中低音のヴィオラならではの美しい響きを、ヒンデミットのメッセージに乗せてみなさまにお届けできれば幸いです。

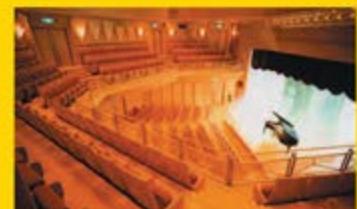


中恵菜(なか・めぐな／ヴィオラ) 桐朋学園大学音楽学部卒業。カルテット・アマーピレのヴィオラ奏者として、2016年第65回ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位入賞、併せて委嘱新作特別賞を受賞。2019年The Young Concert Artists International Auditionsにて優勝。2019年CHANEL Pygmalion Days室内楽アーティスト。音楽祭でダン・タイ・ソン氏やマルタ・アルゲリッチ氏と共に演奏。また「題名のない音楽会」などに出演。ヴァイオリンを久保良治、ヴィオラを佐々木亮の各氏に師事。2017年ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンマスター課程に入学し、現在ヴァルター・キュスナー氏の元で研鑽を積む。



北端祥人(きたばた・よしと／ピアノ) 第6回仙台国際音楽コンクール、第21回宝塚ベガ音楽コンクール、日本ショパンピアノコンクール、第7回神戸芸術センター記念ピアノコンクール第1位、リヨン国際ピアノコンクールセミファイナリストディプロマなど、これまでに数多くの賞を受賞。2018年、第9回リスト国際ピアノコンクール(ドイツ・ワーマー/バイロイト)では、ドビュッシー作品の最も優れた解釈に対する特別賞を受賞した。京都市立芸術大学大学院を首席で修了後渡独、ベルリン芸術大学大学院ソリスト科を経て、同大学院室内楽科を修了。これまでに佐々木弘美、大川恵未、椋本裕子、上野真、マルクス・グローの各氏に師事。日本ショパン協会正会員。

大阪・梅田 フェニックス・エヴォリューション・シリーズ 公演企画募集／ホール無料提供



あなたの公演プランを舞台で実現してみませんか？

当ホールが公演企画を公募し、審査で選ばれた企画者にホールや付帯施設(基本費)を無料で提供します。併せてホールスタッフが公演開催のお手伝いもする公演共催事業です。企画者には主催者として主体的に公演開催のためのマネジメントに取り組んでいただき、ホールは共催者の立場でサポートいたします。文化芸術の創造的な発展に寄与するユニークな企画、意欲的な企画のご応募をお待ちしています。

- ホール提供日
- 応募資格・条件
- 審査基準
- 選考アドバイザー
- 応募方法
- 締め切り
- 審査結果
- 募集要項請求・応募先

2021年5月22日(土)、8月4日(水)、11月3日(水・祝)／2022年2月2日(水)

- ・プロ・アマチュア・年齢、公演ジャンル不問。(学生可、海外居住者可)
- ・音楽大学卒業または同程度の実力を有する者。・1日1公演の開催、上映時間は休憩時間も含めて2時間程度とする。
- ◇高い音楽性を備えている ◇企画内容が明確で、かつユニークである ◇この公演を機会に発展が期待される当ホールが委嘱する音楽評論家・新聞記者・研究者の方々(5名)

①応募用紙 ②音資料(CD) ③映像資料(DVD/映像・画像を使用する公演のみ)

④その他資料(添付自由・必須ではありません/企画の参考資料、出演歴や実績資料、パンフレットなど)

2020年6月12日(金)消印有効

2020年9月初旬頃、応募者全員に郵送で通知します。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10-8F あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ企画募集」係

TEL 06-6363-0211 E-MAIL concert@phoenixhall.jp FAX 06-6363-1124 HP <https://phoenixhall.jp/>

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛公演のご案内

ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。
当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

協賛
公演

ウインドクインテット・ソノリテ meets 長富彩 スペシャルコンサート

主催
ウインドクインテット・ソノリテ

発売中 2020年4月3日(金) 19:00開演 自由席 一般前売¥3,000(友の会会員¥2,700) 一般当日¥3,500(友の会割引無し) 学生前売¥1,500 学生当日¥2,000

出演 ウインドクインテット・ソノリテ/上野博昭(フルート)、須貝絵里(オーボエ)、吉田悠人(クラリネット)、
村中宏(ファゴット)、三村総撤(ホルン)、ゲスト/長富彩(ピアノ)
曲目 ツェムリンスキー:ユモレスク、カブレ:ピアノと管楽器のための五重奏曲、
ブランク:オーボエ、バースンとピアノのための三重奏曲、
ルーセル:ピアノと木管五重奏のためのティヴェルティマン op.6、ユオン:ティヴェルティメント op.51

第26回青山音楽賞(パロックザール賞)に輝いた、関西を代表するプロオーケストラ奏者による木管五重奏団「ウインドクインテット・ソノリテ」が、人気実力派ピアニスト長富彩をゲストに迎えスペシャルコンサートをザ・フェニックスホールにて開催。演奏される機会の少ない、ピアノと洗練された管楽アンサンブルによる名曲の数々をお届けします。



©Fabio dal Grande

協賛
公演

チュラロンコン合奏団 大阪公演(アジアの至宝 タイ古典音楽と舞踊)

主催
一般社団法人
スペース天

発売中 2020年5月28日(木) 19:00開演 自由席 一般前売¥2,000(友の会会員¥1,800) 一般当日¥2,500(友の会会員¥2,250)

出演 力ムコム・ポンプラシット(チャケー)、バタラ・コムカム(ビー)、ポンプラウイット・パオサワット(ソーウー)、マーリニー・アーチャユッタカーン(タイ舞踊)他
曲目 タイの舞踊作品、器楽・声楽曲

タイ音楽と舞踊の本格的公演です。ステージいっぱいに広がるアジアの音色とリズム、身体の躍動感が堪能できます。上演するのは、タイ最高峰のチュラロンコン大学芸術学部のタイ音楽・舞踊学科の教員、学生からなる合奏団です。教員はプロフェッショナルな演奏家として活躍し、同僚の学生には全タイの音楽コンクールの優勝者を含む豪華メンバーです。宫廷発祥の古典音楽から勇壮な地方舞踊まで、変化に富んだプログラムをお楽しみください。

協賛
公演ヴァイオリンによるドイツ・ロマンティシズム 第1回
白井圭(ヴァイオリン)&伊藤恵(ピアノ)のシューベルト&シューマン

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中 2020年6月10日(水) 19:00開演 指定席

一般前売・当日¥5,000(友の会会員¥4,500) ※友の会割引は前売のみ。7/7との2公演連続券¥8,800(友の会会員¥8,000)

出演 白井圭(ヴァイオリン)、伊藤恵(ピアノ)

曲目 シューベルト:ソナティネ 第1番 二長調 op.137-1 D384、幻想曲 ハ長調 op.post150 D934
シューマン:ヴァイオリンソナタ 第2番 二短調 op.121、ヴァイオリンソナタ 第1番 イ短調 op.105

ヴィーンに拠点を置きセイジ・オザワ松本フェスティバルなどで活躍する若き名手・白井圭(ヴァイオリン)とCDの代表作「シューベルト ピアノ作品集1~6」の第6集が2015年度レコード・アカデミー賞、第70回文化庁芸術祭賞優秀賞などを受賞した実力派・伊藤恵(ピアノ)の注目の公演。

協賛
公演

第11回 ICEPカンボジア/日本活動報告コンサート2020 主催 認定NPO法人ミュージック・シェアリング

4/1(火)
発売

2020年6月17日(水) 19:00開演 指定席 一般前売・当日¥6,000(友の会会員¥5,400) ※友の会割引は1会員2枚まで。

出演 五嶋みどり、エリーナ・ブクシャ(以上ヴァイオリン)、エリカ・グレイ(ヴィオラ)、ノエミ・レイモンドフリセット(チェロ)

曲目 モーツアルト:アダージョとフーガ ハ短調 KV546 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第6番 変ロ長調 op.18
シューマン:弦楽四重奏曲 第2番 ハ長調 op.41(予定)

ヴァイオリニストの五嶋みどりが理事長を務める認定NPO法人ミュージック・シェアリングでは、国内外の学校・病院・福祉施設等に音楽の喜びを届けるプログラムを実施しています。活動の一つ「インターナショナル・コミュニティー・エンゲージメント・プログラム(ICEP)」では、五嶋みどりが若手演奏家とカルテットを組み、2019年12月はカンボジア、2020年6月は日本の各地に本物の音楽を届けます。コンサートではカルテットによる弦楽四重奏をお楽しみいただきながら、カンボジア・日本での活動についてご報告させていただきます。

協賛
公演大阪国際室内楽コンクール&ポルドー国際弦楽四重奏コンクール提携企画
マルメン弦楽四重奏団

主催 公益財団法人 日本室内楽振興財団

3/16(月)
発売

2020年6月26日(金) 19:00開演 指定席 一般前売・当日¥3,000(友の会会員¥2,700) 学生前売・当日¥1,500

出演 ヨハネス・マルメン、ゴウ 理紀也(以上ヴァイオリン)、ブライオニー・ギブソン=コニッシュ(ヴィオラ)、ステファン・モリス(チェロ)

曲目 モーツアルト:弦楽四重奏曲 第14番 ト長調「春」K.387、サルバトーレ・シャリーノ:弦楽四重奏曲 第7番
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第9番 ハ長調「ラズモフスキイ-第3番」op.59-3

アマデウス、プロドスキー、ベルチャ、ドーリック、、熟達の弦楽四重奏を生み出し続けるイギリスから、新たな俊英・マルメン弦楽四重奏団が音楽界に颶爽と登場。モーツアルトとベートーヴェンの王道に、イタリアの奇才シャリーノの作品を挟み、世界が認める弦楽四重奏のサウンドをザ・フェニックスホールの贅沢な空間に響きます。室内楽界の期待のホープの演奏をお聴き逃し無く!

協賛
公演

福井敬スペシャルリサイタル 2020 in 大阪

主催 福井敬.net

3/25(木)
発売

2020年6月27日(土) 14:00開演 指定席 一般前売・当日¥5,500(友の会会員¥5,000)

出演 福井敬(テノール)、黒田博(バリトン)、上田純子、高橋広奈(以上ソプラノ)、谷池重紗(ピアノ)

曲目 プッチーニ:歌劇「ラ・ボエーム」ハイライト 他

19世紀パリを舞台に、詩人ロドルフォとお針子ミミの純愛、そして明日の成功を夢見る若き芸術家たちの貧しくも自由な生活を描いた青春オペラ。プッチーニの甘美な旋律が、ロマンティックな物語を紡ぎだします。名アリアの数々を福井敬と素敵な共演者でお楽しみください。

協賛
公演

ヴァイオリンによるドイツ・ロマンティシズム 第2回

主催 コジマ・コンサートマネジメント

松浦奈々～咲くやこの花賞受賞記念～ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会

発売中

2020年7月7日(火) 19:00開演 指定席

一般前売・当日¥4,500(友の会会員¥4,000) ※友の会割引は前売のみ。6/10との2公演連続券¥8,800(友の会会員¥8,000)

出演 松浦奈々(ヴァイオリン)、須関裕子(ピアノ)

曲目 ブラームス:ヴァイオリンソナタ 第1番 ト長調「雨の歌」op.78、ヴァイオリンソナタ 第2番 イ長調 op.100、
ヴァイオリンソナタ 第3番 ニ短調 op.108

昨年当ホールに於きまして、「ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会」を開催した松浦奈々(日本センチュリー交響楽団コンサートマスター)の令和元年～咲くやこの花賞受賞記念～の公演を是非お聴き逃しなく!!



苦難の歴史を乗り越えた芸術を、開かれた未来のために

— 智内威雄



Keizo Matsui

クラシック音楽は、その長い歴史から伝統音楽のカテゴリーにも分類されています。私はその歴史を繋ぐ一員として、次の世代にどのようにその魅力を伝えていくかを常に考えてきました。私の音楽活動のスローガンは「苦難の歴史を乗り越えた芸術を、開かれた未来のために」です。左手のピアニストになってから17年目、左手のピアノ音楽の復刻普及活動を行う団体「左手のアーカイブ」プロジェクトを立ち上げてから10年目になる今年、更なる挑戦を計画しています。

私の右手に局所性ジストニアが発症したのは、留学中のドイツ・ハノーファー音楽大学に在籍していた頃でした。どうしても音楽を続けたく、右手のリハビリと共に作曲、声楽、指揮といった他の分野も学びました。そんな時期に恩師から左手のピアノ音楽の楽譜を渡されました。その頃は「左手のピアニスト」というとレオン・フライシャーさんぐらいしかいなく、どのような分野なのか分からず、少し距離を置いていました。しかしその楽譜を開いて演奏を試みると、今までに感じたことの無いような感動の波が押し寄せてきたのです。調べてみると、第一次世界大戦で右腕を失ったピアニスト達が作り上げた分野であり、その大部分が歴史に埋もれてしまっていることを知りました。この埋もれてしまつた作品達を世に知らせることが自分の使命であると気付きました「左手のピアニスト」と名乗るようになります。そして何故埋もれてしまったのだろうかと理由を探っていたのですが、この分野は障がいにより右手が不自由になったプロのピアニスト達が、自分が舞台に再起するためだけに作られてき

たことに気がつきました。当然、残されたほぼ全ての作品はプロ向けの楽曲ばかり。習熟課程を作ることこそがこの分野の発展には必要だと確信しました。そこから様々な試みが始まります。

ザ・フェニックスホールで開催しました左手のピアノ音楽史編纂プロジェクトのコンサートでは、バッハ作品を左手演奏の中級者向けに編曲した楽曲を演奏紹介させていただきました。ただ単に両手の曲を片手にするだけではなく、オルガンの足用の練習曲を編曲したり、楽曲の音をコード進行のように圧縮し、そこから現代作曲家に再展開してもらい新たな楽曲を生み出したりと様々な試みを行い、大きな反響をいただきました。貴重な発表の場をいただき感謝しております。そしてその流れはとどまるところなく、次の普及活動の挑戦である世界初の左手のピアノ国際コンクールの開催へと繋がっていきました。プロフェッショナル層を支援する芸術振興事業と、アマチュア層を支援する教育福祉事業として2部門を開催しました。次回大会は2021年2月27、28日に大阪府箕面市で開催されます。次回大会はさらに進化し作曲部門も開催します。そのことにより一般の奏者と作曲者の距離を縮め、普及活動を加速させていきます。

私は、これからも左手のピアノ音楽の復刻普及活動を通して、人類の共有財産であるクラシック音楽の魅力を、次世代に繋いでいきます。ぜひ今後も左手のピアノ音楽の普及活動にご注目ください。

智内威雄(ちない・たけお)/ピアノ奏者

東京音楽大学、ハノーファー音楽大学を卒業。留学中に国際コンクールに入賞受賞するが、右手に局所性ジストニアが発症。2003年に左手のピアノ音楽と出会う。その分野の復刻普及を目指し芸術振興と教育福祉事業を手がけ高く評価されている。07年に関西テレビ、13年にNHKがドキュメンタリー番組を制作。16年に神戸アートアワード大賞受賞、17年にJasrac音楽文化賞を受賞。18年に世界初の左手のピアノ国際コンクールを主催し、NHK制作のドキュメンタリー番組が総務大臣賞にノミネートされる。現在、東京音楽大学講師、一般社団法人ワンハンドピアノミュージック代表理事、「左手のアーカイブ」プロジェクト代表を務める。

